



孤独・孤立対策

「伊勢市多分野協働プラットフォームの構築

～働きづらさを抱えた人たちへの支援に向けて～

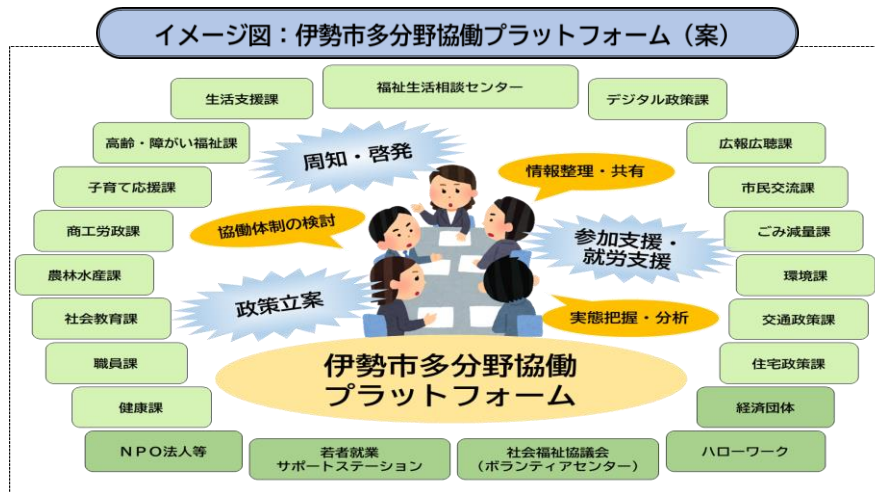
伊勢市は、「働きづらさを抱えた人たちへの支援」を進めるため、「伊勢市多分野協働プラットフォーム(以下、「伊勢市版プラットフォーム」という。)」の構築を行います。

1. 実施内容

(1)伊勢市版プラットフォームについて

庁内外の関係課・関係機関からなる協議体を令和5年2月末までに設立して、情報共有や実態把握を行い、ひきこもり等の働きづらさがある方々への支援を円滑かつ効果的に進めるために必要な、周知・啓発、社会参加や就労の支援、地域づくり等の取り組みを検討・実施する。

福祉以外の、雇用や産業、教育等の分野との連携を図るとともに、庁外の関係機関との協働を進める場とする。



(2)取組状況

令和4年11月7日(月)に、庁内関係課で第一回設立準備会開催。

今後、設立準備会、調査事業等の実施を経て、伊勢市版プラットフォームを設立する。

2. 実施の背景

この事業は、国の総合緊急対策事業の一つである「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」の取組団体としての決定を受けて実施する。

東海4県の市町村では、三重県内で伊勢市を含む2市のみ

取組団体は、全国で29団体

事業経費は、600万円を上限に国から直接支出される(令和4年度)。